

1 単 元 新発見、豊橋のキラリ！～豊橋筆のよさをみつけよう！～「特色ある地いきと人々の暮らし」

2 単元目標

- (1) 豊橋筆に関心を持ち、意欲的に調べるとともに、豊橋市の地域の特色や伝統的な工業のよさについて考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 豊橋筆には、歴史的な背景があることや筆づくりにたずさわる人々の工夫や努力によってつくられ伝えられていることを考えることができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 豊橋筆のよさについて、体験活動や資料をもとにして、必要な情報を収集・活用して、わかりやすく表現することができる。
(観察・資料活用の技能)
- (4) 自分たちの住んでいる豊橋の人々は、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用して、特色あるまちづくりをしていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 活用したい言葉の力

○話を聞いてメモをとる力（3年6月「話を聞いてメモをとろう」）

○話し合いをする力（3年11月「こちら、子ども相談室」）

4 単元の構想（10時間完了）

【個：個の学び 集：集団の学び】 【(個) → (集)】

予想される学習活動

★支援

つかむ・見通す

追究する

活用する

・豊橋のキラリをたくさんみつけてきたけど、豊橋筆というのがあるよ。

豊橋筆を豊橋のキラリに入れる？入れない？ ①→①（本時） ★1★2

- | | | |
|------------------|-----------------|-------------------|
| 【入れてもいい】 | 【わからない】 | 【入れなくてもいい】 |
| ・豊橋って名前がついているから。 | ・よさがわからないから、迷う。 | ・他の筆と変わらない気がするから。 |
- ・まだ豊橋筆のことがよくわからないから調べてみたい。

～豊橋筆のよさをみつけよう！～

豊橋筆のよさはどんなところだろう？ ②③→④ ★3★4

- ・他の筆と作り方は違うのかなあ。
- ・伝統工芸って何だろう？
- ・豊橋しか売っていないのかな？
- ・どうやって調べたらいいんだろう。まずは、自分で調べてみよう。
- ・すべての作業を一人の職人が手作業で行っているのは豊橋筆だけ。
- ・200年の歴史があり、高級品として評価を得ているなんて、すごい！
- ・「美充作」って筆に書いてあった職人さんが作り方を教えてくれるよ。

豊橋筆を作る体験をしてみよう 総合①②（体験）→⑤（発表） ★5

- ・高い技術が必要で大変な作業なんだね。
- ・後継者が不足している。
- ・後継者不足で豊橋筆がなくなったら豊橋のキラリでなくなってしまうよ。

豊橋筆はなくなるのだろうか？ ⑥⑦→⑧⑨ ★6

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 【かかえている問題】 | 【豊橋筆の普及】 | 【広める努力】 |
| ・後継者の減少 | ・伝統産業に認定 | ・豊橋筆振興協同組合 |
| ・パソコンの普及 | ・知名度や認知度の向上 | の活動 |
- ・伝統を守ろうとしている人たちがいる。なくしてはいけないものなんだ。
- ・後継者を増やす努力をしている。豊橋筆を広めようと活動している。
- ・豊橋筆を愛用する人たちも増えてきている。たくさんの人たちの思いや願いがあるなんて、本当にすごい！

豊橋筆を豊橋のキラリに入れる？入れない？ ⑩

- ・豊橋筆のよさがたくさんあった。キラリカードに書き加えたい。
- ・今年の年賀状は、自分の作った豊橋筆で書いてみよう。

★1 前時の学習をふり返ることで、豊橋筆という筆のよさに視点がいくようにする。

★2 本物の豊橋筆と一般に使われている筆を見せることで、「見てみたい」「使ってみよう」などの思いがもてるようにする。

★3 豊橋筆作りの工程写真を見せることで、豊橋筆について調べたいことを具体的に考えられるようにする。

★4 知りたいことを明確にすることで、副読本「かがやく豊橋」から必要な情報を書き出せるようにする。

★5 事前に既習のメモの取り方をふり返っておくことで、大切なことや心に残ったことを効率よく書き残せるようにする。

★6 より深く調べることができるように、適切な資料を用意する。

5 本時の指導

(1) 目 標

- ・豊橋のキラリに加えるかどうかの話し合いを通して、豊橋の筆作りに関心をもち、意欲的に活動し、考えながら追究することができる。

(2) 授業にあたって

子どもたちは、これまで豊橋のよさを探して級友に教えようという活動を行ってきた。キラリカードに豊橋にある公共施設などについて調べたことをまとめ、楽しく学習してきた。

本単元では、豊橋筆も豊橋のキラリに入れるかを課題として、豊橋筆のよさを追究していこうと考えている。しかし、この豊橋に豊橋筆という伝統産業があることを知っている児童はほとんどいない。豊橋筆は、熟練した職人が1本1本手作りで作り上げるものであり、そこには豊橋筆ならではのよさがある。また、この伝統産業を守り続けていこうとする人々の思いや願いがある。そうした様々な思いに触れる中で、伝統を守っていくことの大切さに気づかせるとともに、郷土である豊橋に誇りと愛情がもてるようにしたい。

本時は、その導入段階である。前時までの学習を振り返りながら豊橋筆という存在に気づかせるとともに、実際に見たり使ったりする活動を通して、より高い興味や関心を引き出したい。

(3) 展 開

学 習 活 動			◆支 援 ※評 価
豊橋筆を豊橋のキラリに入れる？入れない？ ・ 豊橋筆というのがあるのを初めて聞いた。どんな筆なんだろう？ ・ 見た目は、自分たちが使っている筆と変わらないような気がする。 【入れてもいい】 ・ 豊橋っていう名前がついているから、入れてもいいんじゃないかなあ。 【わからない】 ・ 初めて知ったばかりで、豊橋筆のよさがわからないから迷うなあ。 【入れなくてもいい】 ・ 普通の筆と変わらない気がするから入れなくてもいいんじゃないかなあ。			◆ 本物の豊橋筆と一般に使われている筆を見せることで、「もっとよく見てみたい」「触ってみたい」「書いてみたい」「比べてみたい」などの思いがもてるようにする。 ◆ 実際に見たり書き比べたりする活動をグループで行うことで、友達の感想や気づきも参考にしながら、違いについて考えられるようにする。 ◆ 筆を押し当てた時の感触やはらいやはねを書いた時のかすれ具合を比べるとよいことを助言する。 ※ 比べる活動を意欲的にを行い、豊橋筆と自分たちが使っている筆との違いを考えることができたか。 (活動の様子・発言) ◆ 机間指導をし、知りたいことを書くのに困っている子には、気づいたことに「なぜ」や「どうして」という言葉を付け足すように助言する。 ◆ 豊橋筆について調べたいことや感想などの中から今後につながる前向きな意見を取り上げることで、子どもたちの興味や関心を広める。 ※ 豊橋筆に関心をもち、今後の活動への意欲をもつことができたか。(ノート・発言)
みんなが使っている筆と豊橋筆を比べてみよう 【見てみる】 ・ 同じに見える。どこが違うんだろう。 ・ 「豊橋筆」「工芸士美充作」と書いてある。 ・ 「伝統的工芸品」というシールが貼ってある。 【使ってみる】 ・ 他の筆と変わらないような気がするなあ。 ・ 書きやすいような気もするなあ。 ・ はらいが書きやすいような。 ・ 筆がやわらかい気がする。			
・ これだけでは、まだよさがわからないよ。もっといろいろ知らないと。			
知りたいことはどんなことかな？ ・ 「工芸士美充作」って書いてあったけど、どんな人が作っているんだろう。 ・ 伝統工芸品って、何だろう？ ・ どうやって作っているんだろう？ ・ たくさん作られているのかなあ。			
今日の学習日記を書こう ・ 豊橋には、そんな筆があるのを知らなかった。 ・ 豊橋筆のことについて、もっと知りたくなった。 ・ 豊橋筆にはどんなよさがあるのか、これから調べていきたい。			



